

第84回放射線科学研究会

若狭湾エネルギー研究センターにおけるイオンビーム利活用研究

2026年6月22日(月) 13:30-17:00

プログラム

開会挨拶 (5分) 大阪ニュークリアサイエンス協会
ONSA イオンビーム利活用専門部会

専務理事 奥田修一
部会長 岩瀬彰宏

1. 若狭湾エネルギー研究センター(エネ研)の概要(10分)

若狭湾エネルギー研究センター 研究開発部長 小井 衛
エネ研の概要(研究開発、産業支援、人材育成・交流)、加速器(イオンビーム)等を用いた研究分野および公募型共同研究、加速器利用系装置等の利用、技術支援・相談等の制度について紹介する。

2. エネ研のイオン加速器および利用系(35分)

若狭湾エネルギー研究センター 加速器室長 羽鳥 聡
エネ研が有する3台の加速器(シンクロトロン、タンデム、イオン注入器)および加速器利用系装置の紹介や、安定運転・効率化・ビーム開発などへの取り組みについて報告する。

3. 宇宙産業用デバイスの照射耐性試験の現状(35分)

若狭湾エネルギー研究センター 照射支援室長 久米 恭
宇宙機器用半導体デバイスの宇宙線耐性試験を、JAXA や大学との共同研究、民間企業の依頼照射などにより実施している。その現状について報告する。

(休憩)

4. ナノ構造化した水素貯蔵材の水素分布のイオンビーム分析(35分)

若狭湾エネルギー研究センター 主幹技師 安永和史
水素吸蔵合金において、水素の吸蔵量・吸放出温度は重要な特性である。イオン注入等により Mg にナノ構造を導入し、水素吸蔵性能に与える効果をイオンビーム分析法等により評価した結果を報告する。

5. イオンビーム育種法による有用新品種開発(35分)

若狭湾エネルギー研究センター 生物資源研究室長 高城啓一
イオンビームの突然変異原としての特徴と、エネ研の加速器を用いてこれまでに作出した有用品種について報告する。

6. 陽子線治療を基軸とした集学的治療によるがん治療効果の拡大(35分)

若狭湾エネルギー研究センター 主任研究員 前田宗利
エネ研のシンクロトロンを用いた高エネルギー陽子線を中心とした集学的がん治療の実現に向けた取り組みの現状について報告する。

今回 ZOOM 参加が主体となります。講師も全員 ZOOM 参加となるため会場参加はなるべくお避け下さい。

主催：一般社団法人 大阪ニュークリアサイエンス協会、共催：ONSA イオンビーム利活用専門部会

日時：2026年6月22日(月) 13:30-17:00

会場 ONSA 会議室(大阪市中央区南船場3-3-27 サンエイビル4階(ONSA 事務局))

参加費：ZOOM 参加：一律1000円(放射線科学研究会会員無料)、会場参加：企業：5000円、協会会員・

大学・公設機関：1000円、放射線科学研究会会員・一般市民・学生 無料

参加費支払いは、参加申込前に銀行振込でお願いします。りそな銀行、船場支店、普通預金 No3635459、(一社)大阪ニュークリアサイエンス協会

研究会参加申込票（会場参加先着 5 名、Online 参加 40 名）

1. FAX 送信票（06-6282-3351）

（宛 先）〒542-0081 大阪市中央区南船場 3-3-27 一般社団法人 大阪ニュークリアサイエンス協会（ONSA） TEL:06-6282-3350, FAX:06-6282-3351, E-mail:onsa-ofc@nifty.com	
--	--

お名前	連絡先 〒住所	メールアドレス (正確・鮮明に 表記)	研究会 出欠	
			Zoom	会場
			出欠	出欠
			出欠	出欠
			出欠	出欠

2. 参加申込フォームからの申込み

ONSA HP 申込フォームからお申込み下さい。

URL:

<https://ws.formzu.net/fgen/S33567424/>

QR コード：右記



研究会は ONSA 事務局のサンエイビル 4 階にて開催。

交通：大阪メトロ心斎橋駅 1 番出口より徒歩 5 分、長堀橋駅 2A または 2B 出口より 4 分

